

小村寿太郎関係年表

西暦	年号	小村寿太郎の動き	主な出来事
1853	嘉永6		ペリー提督が開国を求めて浦賀へ来航、 プチャーチン（露）が長崎へ来航
1854	安政元		黒船再来航、日米和親条約（神奈川条約）締結、 日露和親条約締結
1855	安政2	日南市飫肥本町の別当屋敷に生まれる（9月26日）	
1859	安政6	私塾（稲澤塾）に入学	
1861	文久元	飫肥藩校振徳堂入学	
1866	慶応2	振徳堂東寮入寮	
1868	明治元		鳥羽伏見の戦い、五箇条の御誓文
1869	明治2	振徳堂卒業、長崎留学	版籍奉還
1870	明治3	大学南校（現東京大学）に再入学	
1874	明治7	英文自叙伝を書く、海外留学運動、東京開成学校と改称	
1875	明治8	ハーバード大学入学（文部省第1回留学生）	
1877	明治10	ハーバード大学法学部卒業、専修科に進む	西南戦争（恩師小倉処平自刃）
1878	明治11	同大学卒業後、ニューヨークの弁護士事務所研修	
1880	明治13	米国から帰国（11月）、司法省に就職（12月）	
1881	明治14	朝比奈マチと結婚、判事	
1884	明治17	外務省権少書記官、公信局勤務	
1885	明治18	外務省翻訳局勤務、翻訳局次長心得	
1886	明治19	翻訳局次長	
1888	明治21	翻訳局長	
1893	明治26	清国公使館参事官、清国公使館一等書記官、清国臨時代理公使	
1894	明治27	北京から帰国、外務省政務局長	日清戦争
1896	明治29	外務次官（大隈外相）	
1898	明治31	米国公使	
1900	明治33	露国公使、清国公使	
1901	明治34	外務大臣	
1902	明治35	日英同盟調印、男爵、華族	日英同盟
1904	明治37	日露戦争	日露戦争
1905	明治38	ポーツマス条約調印（9月5日）	ポーツマス条約調印
1906	明治39	外務大臣辞職、枢密顧問官、英国大使	
1907	明治40	伯爵	
1908	明治41	外務大臣再任、条約改正準備委員長	
1910	明治43	第2回日露協約調印、韓国併合	第2回日露協約調印、韓国併合
1911	明治44	日米通商航海条約調印、日英通商航海条約調印、侯爵、貴族院議員、日独通商航海条約調印、日仏通商航海条約調印、外務大臣辞任（在任通算7年4ヶ月）、神奈川県葉山にて死去（11月26日）、外務省葬（12月2日）	日米通商航海条約調印、日英通商航海条約調印、 日独通商航海条約調印、日仏通商航海条約調印